

2016年伊勢志摩国立公園指定70周年記念紙

初夏の号 6 第6号



はるく伊勢志摩

企画・編集・発行：(有)伊勢文化舎
協力：伊勢志摩国立公園協会
公益社団法人伊勢志摩観光コンベンション機構
発行部数：8万部
〒516-0008 三重県伊勢市船江2丁目22-25
TEL: 0596-23-5166 FAX: 0596-23-5241
Mail: otayori@isebito.com
URL: http://www.isebito.com/



鳥羽湾に浮かぶ 答志島を歩く

伊勢志摩国立公園ウォーキング・シリーズ ①

撮影：鈴木和宏(アンブレ)

- 特集 2→3……鳥羽湾に浮かぶ答志島を歩く
- シリーズ 4……里の祭りを訪ねる1「海女の祭り」
- 5……インタビュー 伊勢志摩と私「阪本博文さん(写真家)」
- 6……特別企画 伊勢志摩百物語 調査隊がゆく
- 7……ぐるり伊勢志摩 見よう・歩こう・楽しもう (国立公園エリアマップ)
- 8……お知らせ 伊勢志摩国立公園指定70周年事業スケジュール
70周年記念事務局より/伊勢志摩からの便り ●購読のご案内・配布先一覧

答志島和具(ドローン撮影)

歩いてこそ、自然は親しく語りかけてくれます。空も、海も、緑や花々、生き物たちも…。今号からシリーズで、季節にふさわしい伊勢志摩のハイキング・スポットへ出かけます。自然にひたり、その点景となってウォーキングを楽しみましょう。

初回は答志島にかぶ答志島へ――。

鳥羽湾には大小さまざまな島がありますが、人が暮らし定期船が通うのは、そのうち4つの島々。陸に近い方から坂手島、答志島、菅島、神島です。それぞれに自然も暮らしぶりも特色があって、四季の変化も楽しめる情趣ある島々です。

今回歩く答志島は、面積、人口ともに4

島中最大で、漁港も3カ所にあります。古くは万葉集にも詠まれ、宮廷や伊勢神宮に海の幸を納めた御食つ国の歴史が今なお感じられる海の食材が豊かな島でもあります。



答志島 伊勢湾の湾口、鳥羽市の沖 2.5 ㎞に浮かぶこの島は、鳥羽湾で最大の島であり、東西約 6 km、南北約 1.5 km と細長い。人口約 2,200 人。

特集

鳥羽湾に浮かぶ答志島を歩く

ルート

約 9.6 km
約 5 時間

鳥羽マリンターミナル(佐田浜港)→桃取港→漁協市場→桃寿橋→奈佐の浜分岐→長者ヶ浜分岐→水道タンク→天望山レイフィールド展望台→答志中学校→和具漁港→首塚→胴塚→八幡神社→答志漁港→海水浴場→路地歩き→答志港→鳥羽マリンターミナル

答志島は島民の多くが漁師や海女たちという海に生きる島です。西端の桃取から歩き始め、和具、答志と三つの漁港に立ち寄りながら島を縦断。魚市場をのぞき、苔むす九鬼水軍史跡を訪ね、迷路のような路地を歩くなど、寄り道が楽しい島ウォークです。

鳥羽マリンターミナルから出港!

答志島へ渡るには、鳥羽駅(JR・近鉄)から徒歩7分の鳥羽市営定期船乗り場の鳥羽マリンターミナルへ。船便は強風や濃霧で欠航することもあるので、天気予報はぬかりなくチェックして出かけましょう。

鳥羽湾の船旅は波も静かで爽快そのもの。甲板に出ずっぱりで、右手に坂手島、つづいて菅島、漁をしている漁船の群れ…と見とれているうちに答志島の西端、桃取港が近づいてきます。

港で待ち合わせたのは、取材同行をお



鳥羽市営定期船の甲板から島が近々と見える。

願いした濱口ちづるさん。答志生まれの海女さんで「島の旅社」(コラム)の中心メンバー。島中、顔見知りがいっぱいの明るい女性です。

桃取漁港に塩ワカメづくりの香り

桃取港からほどなく桃取漁協の魚市場があります。「ちょっとのぞいて行きましょか」と濱口さん。海水を満たした生け簀には、大きなタイ、ヒラメ、磯のアイナメ、メバル、ぐねぐねと元気なアナゴ…。貝はサザエ、タイラギ、アカガイ、アケガイ。名物のタコは逃げないように網を仕込んだ水槽に。限りなく天然に近い魚たちの美しさは感動ものです。

海岸から沖を見ると、目と鼻の先に細長い島が横たわっています。左手が浮島、真ん中に小さく屋島、その右手には牛島。「浮島と屋島の間が、大潮の干潮時には広い磯場になるんです」。潮だまりはイ



一家総出でワカメの収穫。(桃取)

ソギンチャク、ウニ、ヒトデ、ヤドカリ、アメフラシなど磯の生き物でいっぱい、まさに手で触れる水族館——。

「子どもも親も夢中になるんですよ」と濱口さん。夏期の大潮のみに行われる島の旅社の期間限定プログラムは人気が高そうです(コラム)。

天神山のすそを通り抜けると、漁船がずらりと係留されている桃取漁港に出ます。おや、この香りは?

「ほら、ワカメの作業をしてるでしょ」と濱口さんが指さす。2月から始まったワカメの収穫はそろそろ終盤に。一家5人が手分けして荷揚げ、洗い、潮焚き、めかぶと茎の分離作業にいそしむ様子をしばらく見せていただきました。

独特の香りは、大釜でワカメを潮焚きしている香り。環境省選定の「かおり風景百選」にこの島の塩ワカメづくりの風景が選ばれているのは、これなのです。

アクセス・問合せ
離島めぐりの発着点「鳥羽マリンターミナル」
【鳥羽→桃取】午前3便/午後7便(運賃大人440円)
【答志・和具→鳥羽】午前5便/午後5便(運賃大人540円)
営業時間 6:40~20:20(年中無休)
住所 鳥羽市鳥羽1丁目2383-51
☎ 0599-25-4800
○鳥羽マリンターミナル周辺の駐車場
佐田浜第1駐車場(7:00~20:15)
佐田浜第2・3駐車場(24時間営業)
※有料(第1~3駐車場ともに1時間以内無料)

観光に関する問合せ
鳥羽市観光課 ☎ 0599-25-1157
鳥羽市観光協会 ☎ 0599-25-3019
宿泊案内
答志島旅館組合 ☎ 0599-37-2822



桃取漁協市 早朝から漁船による水揚げがはじまり、セリ市が始まるのは午前1時から。休業・土曜、隔週の火曜

柑橘の祖・ヤマト タチバナ自生地も

桃取漁港にかかる桃寿橋のたもとには、のんびり憩うお年寄りたち。これから答志スカイラインを歩いて答志まで行くと、「今は便利になったわな。以前は海岸線を行くんで答志までえらく時間がかかったもんじゃ」とおっしゃる。

答志島スカイラインは40年余りに開通した道路で、三重県の離島で唯一の一般県道とか。通称の「スカイライン」は、ビュンビュン車が行き交うイメージですが、軽4トラックや宿泊施設のワゴン車

明治13年(1880)、明治天皇の御聖断を仰ぎ、伊勢神宮の遥拝所として建てられたのが「東京皇大神宮遥拝殿」、いまの東京大神宮です。皇室の御祖神である天照大御神をまつり、国民の総氏神と仰がれる伊勢神宮(内宮)の御神徳を皇都東京にあまねく宣布し、都民の心のよりどころになるようにとの願いから創建され、130年余の歳月が流れました。「東京のお伊勢さま」として親しまれている東京大神宮は、いまも伊勢神宮と都民の心を結んでおります。



東京のお伊勢さま



東京大神宮

〒102-0071 東京都千代田区富士見 2-4-1
電話(03)3262-3566 FAX(03)3261-4147
http://www.tokyodaijingu.or.jp/
JR総武線・地下鉄東西線・有楽町線・南北線・大江戸線「飯田橋駅」徒歩5分



ヤマトタチバナは濃い緑色。枝にトゲが多い。絶滅危惧種。



「あれが長者ヶ浜」と濱口さん。

の大将・九鬼嘉隆の終焉の地なのです。岬の突端、海を隔てて鳥羽城がしっかりと目にとられる地点に首塚があります。胴塚の方はそれよりやや離れた地点に。辺りがござっぱり

に見かける⑧(マルハチ)の字は八幡さまの八。霊験ある“ごりの木”の消し炭で書いたもので、護符の役目を果たしているのです。

答志港の前に出ました。この一帯が町の中心地で、家々は密に肩寄せあって、迷路のように細い路地が張りめぐらされています。この路地歩きも昨今は旅人に人気なのとか。コンビニはないけれど、食堂や郵便局など、島の生活に欠かせないものがちゃんとそろっているのです。

答志の路地歩き。



が時々通るくらいのもので、テクテク歩くには気にならない交通量なのです。

おや、右手にこの島には珍しく水田が広がっています。

「桃取は答志や和具とちがって、農業に熱心な地区なんです。この辺りは谷間の沼田やけど、今も米作りされてるんやね」と濱口さん。この島の三地区<桃取・和具・答志>は隔絶していた時代が長かっただけに気性もそれぞれ。

「わたしが生まれた答志は海の仕事ばかりやで、道路の草刈作業をいっしょにやると、“だだくさ(大雑把)や”、と桃取の人にいやがられてしまう」と笑う。

道路工事中らしくトラックが入りしっている分岐に来ました。左手眼下には美しい入り江が見えます。

「あれは奈佐の浜ですよ。ヤマトタチバナの自生地がその先の岬にあります」と濱口さん。ヤマトタチバナとは日本特有の柑橘で、三重を始め、和歌山、山口など四国、九州の海に近い山地が知られていますが、今では絶滅危惧種なのです。文化勲章のデザインはこの花を圖案化したものと聞きました。

分岐点の脇に接ぎ木で増やして植樹した木が3センチほどに育っています。5月には香りの良い白い花が咲き、秋には直径2センチほどの実がなるそうです。

いるのに気づきました。「これは長者ヶ浜に通じる道の入り口です。むかし、長者に人々が住んどって、田畑も開かれお寺もあったそうやけど、今では無人なんですよ」。

天災に見舞われたとか、事件があったとか、真相は藪の中。長者ヶ浜のお寺にあった観音像だけは答志の潮音寺に移され、安置されているそうです。

どこからか正午を告げるサイレンが。急に空腹になってきました。

島中に水を供給している大きな水道タンクを過ぎると、右手に「天望山レイフィールド」の看板。小高いところに展望台風の木製のモニュメントがあり、ここで弁当を開くことにしました。ここからは眺望がよく、沖の神島もくっきりと見えます。

三角に尖って見えるのが神島。



と掃除され、塚に花が供えられているのは、地元の人々の無念の将への敬慕の念でしょうか。

和具から幣振り坂を越えて、最後の港、答志に向かいます。

「この坂の辺りは、例年ならコウナゴやシラスが一面に干されとるんですよ」と濱口さん。ことしは空の干しザルが並んでいるばかり。テレビ・新聞でも話題になったことですが、この春はコウナゴ漁がまるで駄目だったのです。海に生きるのは、生やさしいことではないのです。



九鬼嘉隆の首塚・胴塚 九鬼嘉隆は天文11年(1542)志摩国生まれ。水軍を率いて織田信長軍を援護し長島一向一揆、石山本願寺攻めでも勝利に貢献。鳥羽城を築く。関ヶ原の戦いで西軍に属し敗戦。答志島に逃れ、切腹した。

答志の路地歩き、人気の観光に

幣振り坂を登りきると、右手に大きな船溜まりが。答志の漁船がずらりと並び、頑丈なコンクリート壁に守られもやっています。もう一つ、答志を護っているのは八幡さまで、その神社へは朱色の橋が架かっています。

「早春の神祭は3日間かけて神事、歌、踊り、地芝居と、町民総出で盛り上がるんですよ」と濱口さん。家々の出入り口



取材と文=乾 淳子 撮影=鈴木和宏(アンブレ) 取材協力=島の旅社

コラム 島の旅社の催し物

浮島自然水族館

無人島の浮島に船で渡り、指導者のもとで生き物観察を楽しむ。夏期、大潮を中心に開館する。
●日程と料金は本紙P7に。



海女小屋体験

海女小屋を再現した屋内で、旬の魚貝を炭火焼にして味わうことができる。夏は黒アワビ、秋は伊勢エビなど。海女漁などについての話も聞ける。
●中学生以上3000円より(小学生以下はお問い合わせください)



まぼろしの長者ヶ浜の人びと

ゆるい坂を上りきると視界が開け、右手に鳥羽湾が広がっています。眼下には岬と浜を繰り返すリアス式海岸線の長者ヶ浜がくっきりと見えます。

一対の門柱らしいものが道端に立って

九鬼嘉隆の首塚、胴塚へ

道はゆっくりと下り坂に。下りきったところに答志中学校があり、ほどなくサンシャインビーチと呼ばれる海水浴場に出ました。ビーチに沿うようにホテル・旅館の多い和具の町が始まります。

定期船の着く和具港を右に見ながら、岬にある史跡、首塚と胴塚をめざします。ここは戦国時代に勇名を馳せた九鬼水軍



伊勢名物 赤福

本店 〒516-0025 伊勢市宇治中之切町26番地
電話 0596-22-2154(代) ファックス 0120-081381
http://www.akafuku.co.jp/



キャラクター 福丸くん facebook 頭之体操



頭の神様 おかしらさん
日本で唯一
「頭之宮」と名付く神社

頭之守護神 知恵の大神 頭之宮 四方神社 0598-72-2316
http://www.koubenomiya.or.jp/

- 「松阪」よりJR線又は三重交通(南紀特急)「大内山駅」下車徒歩10分
- 「松阪」からレンタカーが便利です。いずれも、およそ50分。
- 紀勢自動車道 紀勢大内山ICより尾鷲方面へ車で5分
- 伊勢志摩国立公園の南の玄関口・南伊勢町まで15分(国道260号全線開通)

海の祭り、山の祭り…。
伊勢志摩の祭りは素朴で、底抜けに明るい。
祭りをライフワークとする阪本氏が
隠れた里の祭りを写真と文で語りかけます。

里の祭りを訪ねる

伝統と習俗の楽園を訪ねて

profile

さかもと・はくぶん
1952年(昭和27)伊勢市生まれ。フ
リーカメラマンとして87年独立。89
年から雑誌「伊勢志摩」に参画。県内
各地の祭りをライフワークとして撮る。
式年遷宮をはじめ伊勢神宮の祭祀の記
録も担う。作品集『祭国視集 晴れや
かな持続へ』(月兎舎刊)などがある。



神事後、代表の海女2人が藁の御船を持ち海に入る。



それぞれの海女たちは浜に置かれた石に洗米や塩を供え祈る。



海に流す藁の御船。4本の幣を立てその真ん中に餅が供えられている。

浜まつり (志摩市志摩町布施田)

シリーズ1 海女の祭り 海女の口開けが始まると、安全と大漁を祈る祭りが里々で行われます。

祭りという、私たちがよく目にし耳にするのは、奇祭・勇壮・絢爛・乱舞するお祭り男女などの日常とは異質な姿です。一方で海山の暮らしの中では、観光情報などにも出てこない地味な祭りもたくさんあります。規模はともかく、そこに人が集い協力し合い、競ったり神妙になったり笑ったり泣いたり、祭りに共通するのではないのでしょうか。

志摩や鳥羽には「海女」さんが多数暮らします。暮らしがあればやはり祭りもたくさんあります。志摩市の和具の「大島祭」は「潮かけ祭り」とも呼ばれ、毎年ニュースを飾ります。その和具の隣の布施田には「小島祭」があります。いずれも沖合に並

んで浮かぶ大島小島を由緒としますが、布施田ではかつては小島まで神輿を渡したと聞きます。小島祭の次に行われる「浜まつり」では、2人の海女が海に入り藁の御船を沖へと流します。

その隣の片田では「浜清め」といって、早朝の浜に漁民たちが集まります。祈願の後、海女たちがそれぞれ祭壇の米や白い餅を取り、持参した3個の石を浜に置きその上に供えて祈ります。また、昔、桶に乗って沖に行き漁をしていた海女たちが帰らなかったことを用う日でもあり、代表の海女3人が麦埼灯台下の岩礁まで向かい、竹筒を切ったものを桶に見立て、米や酒を入れ海に流し手を合わせます。

浜清め (志摩市片田)



早朝、日の昇った浜に海女たちが集まり神事が始まる。



小石の上に餅を供え、海女たちは海に向かい手を合わせる。



麦埼灯台下の岩礁へ向かう、3人の仲良し海女さん。

祭りのメモ

潮かけ祭り 7月4日(月)
志摩市志摩町和具 和具大島と和具漁港前
近鉄鵜方駅から三交バス御座行、和具下車

浜まつり 7月14日(木)
志摩市志摩町布施田 中の浜
近鉄鵜方駅から三交バス御座行、布施田下車

浜清め 7月16日(土)
志摩市志摩町片田 大里浜
近鉄鵜方駅から三交バス御座行、片田下車

問い合わせ 志摩市観光協会
電話 0599-46-0570

*祭りによっては日程等変更となる場合もありますので、お出かけの際は事前にご確認ください。



2016年度 真珠博物館企画展
CROWN
クラウン
— クラウン —
美の頂点を極めるもの

- ◆開催中 (2017年3月26日まで)
- ◆真珠博物館1階 企画展示室

日常を離れて、
しばし至高の輝きをお楽しみ下さい。

ミキモト真珠島
MIKIMOTO PEARL ISLAND

◆真珠博物館 ◆御木本幸吉記念館 ◆海女の実演 ◆パールプラザ(ショップ・レストラン) 鳥羽駅から徒歩約5分 ☎0599-25-2028



4月21日
新水槽完成

鳥羽水族館

三重県鳥羽市鳥羽 3-3-6 ☎0599-25-2555
種別: 展示 志摩第18-1号 平成18年6月1日 登録更新: 平成23年6月1日
有効期限: 平成28年5月31日迄 動物取扱責任者氏名: 長谷川一宏

▶ インタビュー 伊勢志摩と私

力を出し合い、競い、笑い、泣く 祭りは人を結び付ける

伊勢志摩の伝統ある祭りを阪本博文さんの写真と文で紹介する

新シリーズ「里の祭りを訪ねる」(4ページに掲載)が今号から始まりました。祭りの現場に密着し、それを支える里の人々のつながりを丹念に見つめてきたプロの心中に迫ります。

写真家 阪本博文さん

伊勢市



カメラを構えて迫る阪本さん。(鳥羽市の大山祇神社の春の大祭)

祭りの役割が見えてきた

——ライフワークとして祭りを撮るようになったきっかけを教えてください。

フリーカメラマンとして独立したころ(昭和62年)、第六十一回神宮式年遷宮のお木曳がありました。自分も参加してわいわいやった中で地域の結び付きを感じて、それからほかの町の祭りにも関心を広げたところに、雑誌「伊勢志摩」から声をかけていただきました。

——独立して来年で30年ですが、その間にどんな変化がありましたか？

最初のころは祭りを自己表現の素材にする意識が強かったですね。それが何回も通ううちに、祭りをする人たちの会話を聞いたりして、暮らしぶりも見えるようになってきて。ケ(日常)の部分があってハレ(祭り)の部分がある。逆も然りですが、町の中のつながりがうらやましいほど持続されていました。祭りの役割が少し見えてきたかな。

——撮り方も変わって来ましたか？

勇壮な祭りとか、迫力を見せるべきものは今でもそうしますが、自己表現とは思っていません。昔はより自分に引き寄せたいけど今はもう少し等身大かな。相手の素晴らしいところを撮るだけのスタンスに変わってきたかと思います。

例えば神島のゲーター祭は無数の竹で木の輪を突き上げるシーンが一番の見せ所。でも、土地に入り込むと「宮持さん」役が手間をかけて長い準備をしています。背景に、統制された縦と横のつながりがあるからこそできること。

ですから、以前は一枚で(本番だけを)スパンッとやる見せ方が多かったんですが、何枚かの写真で暮らしなどの部分とトータルで見せたくなりました。新しいシリーズの中でも、ちょっと試してみたいと思っています。

祭りの知恵や知識を次世代に伝える手助け

——ところで、地域の祭りは今、担い手

不足で存続が危ぶまれています。間近で見てこられて、どう感じていますか？

少子高齢化で継続はますます難しくなっていくでしょうね。だけど、祭りをやめたくて仕方がない人なんていない。みんな本当に泣きの涙でやめていく。

祭りって、記憶をつないで続いていくわけじゃないですか。本来は世代と世代でつなぐものだけど、今のように一時期、中断してしまったとき、わが町の祭りのイメージを持ってなくなると復活させるのは決定的に無理ですよ。持続させていく上でも、同じ町内で長男とか一部の人が祭りに入れなかったりして、わからなくなる知恵や知識がある。

そんな中で、映像(写真)は記録であって記憶に残る。自分の役割は、次の世代の子どもたちに祭りを伝える手助けだと思います。

——新シリーズ「里の祭りを訪ねる」では、何を伝えたいと思っていますか？

集まって力を出し合い、競い、笑ったり、泣いたりもする。祭りは人を結び付ける知恵みたいなもの。でも今はそれを失ったからなのか、家族のつながりすら希薄になっているように感じます。本当は衣食住に次ぐ大切なもの。その意味や役割



臨場感のある記録写真の素材となり展示されている。

を、読者の興味を引くように伝えられたらと思います。

地元のためだけではなく、写真を見た人に祭りの魅力を知ってほしい。まずはそこからじゃないですか。

さかもと・はくぶん

1952年(昭和27)伊勢市生まれ。東京在住中に演劇活動の一貫で写真に目覚め、地元へ帰り87年にカメラマンとして独立。89年から雑誌「伊勢志摩」に参画。年間通じて県内各地の祭りを撮り、雑誌や書籍、海の博物館などに提供する。第62回神宮式年遷宮ではオフィシャルカメラマンとして遷宮諸祭・行事の全てを撮影する。ケーブルテレビZTVのレギュラー番組「ランドスケープ」に出演中。



「日本の海岸線をゆくー日本人と海の文化」京都展

会期:6月14日(火)~19日(日)
会場:京都市美術館
主催:公益社団法人日本写真家協会
日本写真家協会創立65周年記念事業で、阪本さんの作品3点が選出されました。日本の海岸線をテーマに全国の写真家たちの傑作を一堂に集めて巡回展示中。写真集(平凡社刊)が発売されています。

後書き帳

阪本さんは、演劇に携わっていた経験から、祭りには「やる人」と「見る人」がいると考えるそうです。舞台上に演者と観客がいるのと同じ構造だとか。祭りは見せ物ではないという声もあるかもしれませんが、広く言えば外から来る見物人も祭りの場をつくる参加者になるのでしょうか。あるいは、「撮る人」も? (鼻谷年雄)

伊勢神宮(内宮)・おかげ横丁から鳥羽を結ぶ “天空のドライブウェイ” 伊勢志摩スカイライン

朝熊山頂展望台“展望足湯”

伊勢志摩スカイライン 検索

伊勢志摩スカイライン 伊勢料金所 ☎0596-22-1810

http://www.nikodo.co.jp/

参宮客をもてなす 名物ステーキ牛丼をどうぞ

外宮さんと内宮さん、二つのお宮が 永久に光輝く地で商いをさせていただく緑より 「二光堂」と名づけました。

伊勢内宮前

二光堂

〒516-0024 三重県伊勢市内宮おはらい町
TEL 0596-22-4175 FAX 0596-24-2510

特別企画

伊勢志摩百物語

調査隊がゆく

皇學館大学で神道を学ぶ学生7人が、
キャンパスを出て、麗しの島々へ――。
そこで、魅せられたもの、感じたこととは――。

昨夏から フィールドワークを開始!

伊勢志摩国立公園域には離島や小島など、物語をもった多様な島々があります。そんな島々の隠れた魅力を発見し冊子にまとめようと、皇學館大学神道学科の学生有志7人で昨春に「伊勢志摩百物語編集委員会」(顧問は同大の櫻井治男特別教授)を立ち上げました。このプロジェクトには、伊勢志摩の出身者は一人もいません。それだけに、教室の授業では味わえない、新鮮な気持ちでフィールドワークを始動しました。



鳥羽市安楽島の岬先端に鎮座している伊射波神社の一の鳥居前。

貴重な体験と 達成感を味わう

実際に冊子に選ばれた場所は、一口に島と言ってもその形態は様々で、海に浮かぶ島はもちろんのこと「島のような場所」まで含めて取り上げました。夏と秋に現地調査に行った後、原稿執筆。初めて経験する編集作業や校正を経て、3月末ぎりぎりに出来上がりました。「編集」という作業の難しさや辛さと、それらを乗り越えたあとの達成感は、他ではなかなか味わえない体験となりました。



冊子『伊勢志摩百物語』はA5判32ページ、オールカラー(非売品)

紙面の都合で、ここでは3つの島をご紹介します。(佐伯篤史)

干潮時にしか行けない島 潜島(伊勢市二見町)

夫婦岩がある二見興玉神社の東方の神前海岸は、磯波の激しい浸食によってできた海岸です。各所に険しい崖が見られ、私が訪ねた日は天候も良く青い海や空と崖に生える緑の植物のコントラストがとても綺麗でした。崖の割れ目には立石崎の天の岩屋戸をはじめ波の浸食でできた洞窟がいくつもあります。



神前海岸から潜島まで歩いて約800メートル。足場の悪いこつこつした崖沿いを通っていく。

中でも神前岬の潜島は海食洞門といわれる珍しい地形で、この洞門からは遥か彼方に神宮の贅海神事にゆかりのある七ツ島(飛島)が望見できます。「粟皇子ノ遥拝所」と伝えられる潜島(洞門)は神格化され、今も地区の人総出で大注連縄を作って旧暦6月1日頃に洞門へ懸け替え、家内安全を祈願しています。潜島への海岸沿いの道は満潮



流れる汗を拭いながら、やっと辿り着いた潜島で記念撮影。

時には通れないので行く前には潮見表を確認してください。

(神道学科4年 新田恵三)

アクセス JR二見浦駅より2.5km、歩いて30分ほどで神前海岸(車では10分程)。その先は海岸沿いを歩いて潜島へ。ただし潜島には大潮の干潮時にしか行けません。

小説『潮騒』の舞台の島 神島(鳥羽市神島町)



大自然がつくりだした神島のカルスト地形。ニワの浜の隣にある。

神島は鳥羽湾の沖合16kmの位置にある周囲4kmの島で、人口は約400人です。市営定期船で35分、私たちが調査に訪れた10月はアサギマダラの飛来する時期で、幸運にも蝶の群れに初めて出会うことができました。この蝶は日本列島を北上しまた南下する、不思議な蝶です。

港から程近くには島の氏神様である八代神社があり、この神社で大晦日に行われる「ゲーター祭り」は有名です。

三島由紀夫が島に滞在し執筆した純愛小説『潮騒』は、島を舞台に映画化され、その中で見られる監的哨跡や神島灯台、ニワの浜のカルスト地形などの自然には癒されます。また洗濯場近くにあるユニークな形の時計台にまつわる話など、ゆった

りした暮らしが感じられました。最後に、島の名物のタコ飯は他では食べられない絶品です。ぜひご賞味ください。

(神道学科4年 佐伯枝理子)

アクセス 鳥羽マリンターミナルより市営定期船で35分、答志島や菅島経由で約40分

五ヶ所湾奥に浮かぶ小島 村島(南伊勢町内瀬)

五ヶ所湾奥の内瀬の入江、湖のように静かな水面にぽっかり浮かぶ小さな島が村島です。

この島には宗像三女神の石柱である市杵島姫命をまつる村島神社が鎮座し、地元の人々の篤い信仰を集めています。市杵島姫命は神仏習合では弁財天と同神とされ、今なお全国で多くの信仰を集める水を司る神様です。



内瀬の入江に小さく浮かぶ村島。地元民の信仰が篤い。

村島神社では、毎年7月初旬に秋の収穫の無事と海上安全を祈願する大祭が行われており、私もこの日に参列しました。

島へは、地元の大人から子どもたちまで、みな渡し舟で渡り、参道まで

は少しきつい坂道を登って行きます。祭典では、参列者の罪穢れを払う修禊に加え「沖祓」という沖合を祓い清める行事があり、海からの恩恵を受けている地域の人々の思いを感じることができました。

(神道学科4年 佐伯篤史)

アクセス 近鉄宇治山田駅よりバス五ヶ所行き40分 南勢野添下車。徒歩30分。

掲載されている島の一覧

- 五十鈴川の中島(伊勢市・内宮神域) 夫婦岩と興玉石(伊勢市二見町) 松下社(伊勢市二見町松下) 潜島(伊勢市二見町松下)
- 七ツ島(鳥羽市小浜町) 菅島(鳥羽市菅島町) 安楽島(鳥羽市安楽島町) 神島(鳥羽市神島町) 石鏡(鳥羽市石鏡町) 間崎島(志摩市志摩町) 大島・小島(志摩市志摩町) 渡鹿野島(志摩市磯部町) 村島(南伊勢町内瀬)

調査隊メンバー

- 足立 涼(神道学科4年)
- 伊藤りか(神道学科3年)
- 佐伯篤史(神道学科4年)
- 佐伯枝理子(神道学科4年)
- 佐藤 祥(神道学科2年)
- 中野裕介(博士前期課程2年)
- 新田恵三(神道学科4年)
- 顧問 櫻井治男(文学部特別教授)
- 調査・編集協力 伊勢文化舎

冊子『伊勢志摩百物語』の 問い合わせ

冊子は700部印刷。皇學館大学を通じて、伊勢志摩の小学校、中学校、高校の図書館はじめ、同地域の役場、同図書館などに贈呈されました。ご希望の方は120円分の切手を同封して下記の宛先までお送りください。なお、冊子は限定50部、一人1部です。ご了承ください。

送り先
〒516-8555
伊勢市神田久志本町1704番地
皇學館大学櫻井研究室
「伊勢志摩百物語編集委員会」
事務局
電話 0596-22-0201 (代)



おかげ横丁 夏の楽しみ なつまでまつな
夏まつり
平成28年 6月3日(金)~5日(日)
伊勢内宮前 おかげ横丁
〒516-8558 伊勢市宇治中之切町52
(総合案内)TEL0596-23-8838
http://www.okageyokocho.co.jp

美しい五十鈴川の水を生かした豆腐を作りたい
おとうふソフト 自家製豆腐「和妙」を50%以上含んだとうふのソフトクリームです。
「和妙」にきたえ 水の良さを最大限ひきだせるよう作りあげた豆腐です。
うの花どーナつ 100円
うの花どーナつ コーン270円
伊勢おはらい町 豆腐庵山中
伊勢市宇治中之切町95番地
電話0596-23-5558 定休日/木曜



まつり・イベント

開催中のイベント

第4回朝熊山春まつり
 期 5/15(日)
 所 伊勢市、伊勢志摩スカイライン
 団 三重県観光開発 059-226-6752

5月

3 火 かがや屋下がりコンサート「琴コンサート」
 期 13:30～15:00
 所 鳥羽市、鳥羽大庄屋かどや
 団 鳥羽大庄屋かどや 0599-25-8686

2016 里海ムーブメント3day's 「はまじまサザエさん」物語
 期 10:00～14:00
 所 志摩市浜島町、海ほおずき イベント広場
 団 志摩市磯体験施設 海ほおずき 0599-53-1002
 ○ちびっこつみ取りプールやご当地バーガーの販売がある。

4 水 2016 里海ムーブメント3day's あわび王国まつり
 期 9:00～15:00
 所 志摩市志摩町、志摩ふれあい公園
 団 あわび王国まつり実行委員会事務局 090-1988-9251(矢田)
 ○あわびの振る舞い(振る舞い券200円)や志摩の特産品が並ぶ。

5 木 御田祭
 期 13:00～
 所 伊勢市、猿田彦神社御神田
 団 猿田彦神社 0596-22-2554
 ○猿田彦大神に捧げる御料米の御田植神事。

倭姫宮春の例大祭
 期 10:00～ 所 伊勢市、倭姫宮
 団 神宮司庁 0596-24-1111

大注連縄張神事
 期 10:00～
 所 伊勢市二見町、二見興玉神社
 団 二見興玉神社 0596-43-2020
 ○夫婦岩の大注連縄を張り替える神事。

なかまちマーケット
 期 10:00～15:00
 所 鳥羽市、鳥羽なかまち(鳥羽3丁目～4丁目界隈)
 団 鳥羽大庄屋かどや 0599-25-8686

2016 里海ムーブメント3day's 波切かつお祭り
 期 10:40～
 所 志摩市大王町、大王崎観光駐車場周辺
 団 志摩市観光協会 0599-46-0570
 ○11:10より志摩市長によるかつお解体ショーがある。

7 土 神明神社 石神さん春祭り
 期 10:30～お昼過ぎ
 所 鳥羽市相差町、神明神社 石神さん
 団 相差町内会 0599-21-6660
 ○大漁祈願と大願成就を願い、男衆料理で男性が女性をもてなす。

神田御田植初
 期 9:00～
 所 伊勢市橋部町、神宮神田
 団 神宮司庁 0596-24-1111

8 日 志摩国分寺の花まつり
 期 9:00～
 所 志摩市阿児町、志摩国分寺
 団 志摩国分寺 0599-47-3128

14 土 風日祈祭
 期 外宮5:00～、内宮9:00～
 所 伊勢市、伊勢神宮外宮・内宮・風日祈宮ほか
 団 神宮司庁 0596-24-1111
 ○風雨の災いなく、五穀が豊かに稔るよう祈る神事。

風の市
 期 ～22(日) 期 10:00～17:00
 所 伊勢市、おかげ横丁一帯
 団 おかげ横丁総合案内 0596-23-8838
 ○伊勢神宮の祭り「風日祈祭」に合わせて伊勢の風を感じてもらおう。

21 土 藻川神事
 期 10:00～
 所 伊勢市二見町、二見興玉神社
 団 二見興玉神社 0596-43-2020

6月

3 金 夏まちなまつり
 期 ～5(日) 期 10:00～17:00
 所 伊勢市、おかげ横丁一帯
 団 おかげ横丁総合案内 0596-23-8838

4 土 伊勢えび祭
 期 14:00～21:00
 所 志摩市浜島町、浜島海浜公園
 団 伊勢えび祭保存会事務局 0599-53-3330
 ○海の幸への感謝と豊漁を願う志摩の初夏の風物詩。道中じゃこっぺ踊り、伊勢えび神輿で賑わう。フィナーレの花火も見もの。



5 日 かがや屋下がりコンサート「長尾オルガンクラシックコンサートII」
 期 13:30～15:00
 所 鳥羽市、鳥羽大庄屋かどや
 団 鳥羽大庄屋かどや 0599-25-8686
 ○オルガンの名手・大森幹子さんが明治の名器長尾オルガンを演奏。

11 土 あじさい祭り
 期 ～12(日)
 所 志摩市大王町、大慈寺
 団 大慈寺 0599-72-0089

中旬～ せんげん 浅間祭
 期 6月中旬～7月上旬
 所 南伊勢町各地区
 団 南伊勢町観光協会 0599-66-1717
 ○南伊勢町各地区にある浅間山で行われる祭り。



※データは、4/12現在。まつり・イベントは主催者側の都合により、変更になる場合があります。お出かけの際は、あらかじめ電話でご確認ください。

15 水 月次祭
 期 ～25(土)
 所 外宮奉幣16日12:00～、内宮奉幣17日12:00～
 所 伊勢市、伊勢神宮外宮・内宮ほか
 団 神宮司庁 0596-24-1111

18 土 ドキュメンタリー映画「いきたひ」上映会&トークライブ
 期 14:30～17:30予定
 所 伊勢市、いせシティプラザ
 団 1500円(前売1000円)
 所 いきたひ伊勢上映実行委員会 090-7760-9286(世井さん)

21 火 夏至祭
 期 3:30～
 所 伊勢市二見町、二見興玉神社
 団 二見興玉神社 0596-43-2020
 ※社務所建替工事のため今年は原則一般参加の受付はありません。

22 水 赤崎祭り
 期 夕刻～ 所 鳥羽市、赤崎神社
 団 鳥羽市観光課 0599-25-1157

24 金 伊雑宮御田植祭
 期 10:30～ 所 志摩市磯部町、伊雑宮
 団 磯部の御神田奉仕会 0599-55-0026
 ○大団扇がついた忌竹を奪い合い後、早乙女らによるお田植えが行われる。

27 月 朝熊岳開山忌
 期 ～29(水)
 所 伊勢市、金剛寺開山堂
 団 金剛寺 0596-22-1710

7月

2 土 伊勢志摩国立公園指定70周年記念・劇団伊勢第69回公演作品「希望のふるさと伊勢志摩～戦後初の国立公園指定～」
 ※詳細は8面に掲載。

9 土 しろご祭
 期 9:30～12:00
 所 鳥羽市菅島、しろご浜
 団 菅島旅館組合 0599-34-2231
 ○白磯着の海女が海でアワビの初獲りを競う祭り。

体験・エコツアー

※要事前申し込み。詳細は各施設へお問い合わせください。

五十鈴蔵
 所 伊勢市宇治浦田1丁目5-3 0596-20-8251
神宮古館を楽しもう
 期 6/13(月)10:30～12:00
 所 伊勢市、神宮古館 0599-66-1138
 団 会員1400円、一般1900円(入館料他含む)
 ○神宮古館の学芸員の解説を聞きながらの見学。

島の旅社
 所 鳥羽市答志町943 0599-37-3339
「浮島水族館」
 期 7/22(金)、7/23(土)、8/3(水)、8/5(金)、8/19(金)、8/20(土)、8/21(日)
 団 大人3000円、中・高校生2000円、小学生1500円ほか
 所 鳥羽市答志島、桃取定期船桟橋集合
 ○大潮の日の干潮時に無人島を訪れ、磯観察が楽しめるプログラム。

海島遊民くらぶ
 所 鳥羽市鳥羽1丁目4-53 0599-28-0001
海藻の森スルーカヤックツアー
 期 開催中～9月末(8/13・14・15は除く)
 期 9:30～11:00 所 鳥羽市浦村町 0599-28-0001
 団 7000円(3人目お子様シートは4500円)
 ○透明のカヤックを漕いで海草の草原や海に住む生き物に出会えるツアー。

志摩自然学校
 所 志摩市大王町波切2199 0599-72-1733
英虞湾シーカヤック賢島ツーリング
 期 6/2(木)～7/15(金) 期 10:00～12:00
 団 1名7500円、小人6500円
 ○伊勢志摩サミット会場の賢島をカヤックで周遊。食事・入浴付。催行4～10名。

横山ビジターセンター
 所 志摩市阿児町鶴方875-24 0599-44-0567
タイドプールの生き物ワールド
 期 5/7(土) 10:00～12:00
 所 志摩町浜島、浜島矢取島周辺
五ヶ所富士へ登ろう
 期 5/14(土)10:30～13:30
 所 南伊勢町五ヶ所浦
お茶摘み体験
 期 6/4(土) 所 志摩市志摩町越賀
初夏の山歩き
 期 6/11(土)10:00～12:00 所 伊勢市高麗広
 ○料金は各イベント共通、大人200円、小人100円。集合場所は各イベントによって異なるため、横山ビジターセンターへお問い合わせ下さい。

アート

五十鈴蔵
 所 伊勢市宇治中切町26
 赤福本店・五十鈴蔵茶屋本店横
 0596-22-2154(株式会社赤福)
餅街道ものがたり展
 期 開催中～平成29年3月末頃(予定)

式年遷宮記念 せんぐう館
 所 伊勢市豊川町前野126-1 0596-22-6263
企画展示 「神宮の遷座一撰社・末社・所管社」
 期 開催中～6/27(月)
 期 9:00～16:30(最終入館16:00)
 ○普段見ることのできない撰社の復元を記録した「寛文撰社再興記」などの展示。

寶日館
 所 伊勢市二見町茶屋566-2 0596-43-2003
SL列車「お伊勢さん」展
 期 5/3(火・祝)～5/5(木・祝)
南川三治郎展「日本の心～第62回神宮式年遷宮写真展～」
 期 5/14(土)～6/12(日)

鳥羽水族館
 所 鳥羽市鳥羽3丁目3-6 0599-25-2555
特別展示「主要国首脳「貝」議「SHELL7」
 期 開催中～6/30(木)

ミキモト真珠島 真珠博物館
 所 鳥羽市鳥羽1-7-1 0599-25-2028
企画展「CROWN クラウン 美の頂点を極めるも」
 期 開催中～平成29年3/26(日)

海の博物館
 所 鳥羽市浦村町大吉1731-68 0599-32-6006
特別展「浮世絵から見る海女」
 期 開催中～7/10(日)
 会期中の休館日6/26(日)～6/30(木)
 期 9:00～17:00(最終入館16:30)
 ○海女が描かれた浮世絵44点を展示。

伊勢現代美術館
 所 伊勢市南伊勢町五ヶ所浦102-8 0599-66-1138
稲垣孝二展 期 開催中～6/2(木)
第3回 三重の立体造形作家たち展
 期 6/5(日)～7/3(日)

マーケット
五ヶ所湾 Sun! 3! サンデー! ふれあい市
 期 5/15(日)、6/19(日) 9:00～14:00
 所 南伊勢町、町民文化会館駐車場
 団 ふれあい市の会(南伊勢町観光協会内) 0599-66-1717

伊勢のだいご市
 期 5/22(日)、6/26(日) 10:00～14:00
 所 伊勢市、伊勢河崎商人館と周辺
 団 伊勢河崎商人館 0596-22-4810

お伊勢さん菓子博 2017
 27th National Confectionery Exposition in Mie
日本最大級お菓子の祭典!! 前売入場券発売開始!!
 開催期間：平成29年4月21日(金)～5月14日(日)
 開催場所：三重県営サンアリーナ及びその周辺(伊勢市)

お伊勢さん菓子博 2017 検索

〈第1期前売入場券販売期間〉
 2016年4月23日(土)～2016年9月30日(金)

主な販売箇所
 三重県内のお菓子屋さん(三重県菓子工業組合加盟店)、主な旅行代理店、近鉄駅前売場、三重交通主要きっぷ売場等
 ※詳しくはホームページでご確認ください。

お問い合せ **第27回全国菓子大博覧会・三重実行委員会事務局** 〒516-8566 伊勢市勢田町628番地2 三重県伊勢庁舎
 TEL:0596-63-5489 FAX:0596-63-8527 http://www.kashihaku-mie.jp

http://www.iwatoya.co.jp

お多福まんじゅう
 生姜糖
 名物岩戸餅

岩戸屋は今も昔も内宮前
 お多福とともに

伊勢・内宮前おはらい町
岩戸屋
 TEL 0596-23-3188 FAX 28-1322

PEARL BOUTIQUE
珠庵
 TEL 0596-23-6750

伊勢の上流ギャラリー
 ロケッパ
百蔵
 TEL 0596-23-3236

伊勢志摩国立公園指定70周年事業スケジュール

お知らせ

11月の指定月に向けてカウントダウン
夏から関連イベントが目白押し!



いよいよ今年11月に指定70周年を迎える伊勢志摩国立公園。

全国エコツーリズム大会をはじめ各地で準備中の70周年事業実行委員会による主催、連携事業をリストアップしました。

記念イベント

劇団伊勢第69回公演作品
「希望のふるさと伊勢志摩
～戦後初の国立公園指定～」

開 7月2日(土)・3日(日)
所 伊勢市観光文化会館
主催/問合せ 劇団伊勢
☎ 090-4082-5480(佐藤さん)

終戦直後の朝熊山と伊勢の闇市を舞台に、伊勢志摩の国立公園指定に奔走した石原円吉翁らを描く。



愛洲影流のルーツを探る! &
五ヶ所湾漁船クルージング

開 8月21日(日)
所 南伊勢町五ヶ所城址、愛州の館、五ヶ所湾
所 南伊勢町観光協会
☎ 0599-66-1717

エッセイストの川口祐二氏の案内による1日ツアー。愛州の館や五ヶ所湾クルージングが楽しめる。また南伊勢町産の旬の食材も堪能できる。6月1日から募集。



7つのスポーツイベントに
チャレンジ!

開 7月~12月 所 3市1町
主催/問合せ 70周年事業実行委員会
☎ 0599-25-2358

期間内に各地で開かれる伊勢志摩ツアーウオークやお伊勢さんマラソンなどの7つのスポーツ大会をPRし、参加者対象の抽選プレゼントや記念賞を提供。



ツアーウオークでは海沿いを歩くコースもある。

周遊促進事業
伊勢志摩サミットWAON等
を活用したスタンプラリー

開 8月、11月 所 3市1町
主催 70周年事業実行委員会、
伊勢志摩観光コンベンション機構
所 伊勢志摩観光コンベンション機構
☎ 0596-44-0800

伊勢志摩WAON等を活用したスタンプラリーを実施。電子マネーWAONの端末機を各市町に設置し、ポイント獲得数に応じてプレゼントを提供する。

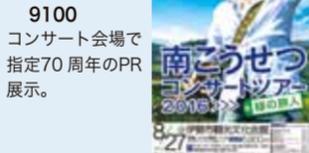


海女のデザインを使った「伊勢志摩」WAON2016カード。

南こうせつコンサートツアー
～緑の旅人～伊勢志摩公演

開 8月27日(土)
所 伊勢市観光文化会館
主催 FM三重、サンデーフォークプロモーション、(株)スコルチャ三重

所 サンデーフォークプロモーション
☎ 052-320-9100



コンサート会場での指定70周年のPR展示。

アートの森事業

開 10月8日(土)
所 鳥羽市市民の森公園
所 70周年事業実行委員会
☎ 0599-25-2358

公園の森に木や石などを活用した創作物を展示。鳥羽市観光協会主催の「クラフト展」も同時開催。



会場の鳥羽市民の森公園(写真は鳥羽クラフト展)

伊勢志摩国立公園指定70周年記念
式典&全国エコツーリズム大会

記念式典

開 11月20日(日)
所 志摩市阿児アリーナ
主催 70周年事業実行委員会
記念式典は全国功労者表彰や記念講演会など。



記念式典会場の阿児アリーナ

全国エコツーリズム大会

開 11月20日(日)~22日(火)
所 志摩市阿児アリーナなど
主催/問合せ 70周年事業実行委員会
☎ 0599-25-2358
3日間でパネルディスカッションや国立公園内を巡るエクスカーション(体験型の見学会)など。



エクスカーションに予定されている英虞湾。

購読のご案内

本紙を購読ご希望の方は、お近くの郵便局に設置されています払込取扱票(青字)に、ご住所・お名前・電話番号・号数・部数を明記の上、伊勢文化舎まで送料をお振込みください。

- 口座番号 00820-2-4239
- 口座名義 伊勢文化舎
- 料金 ・1~5部 200円
- ・6~10部 300円

注:11部以上は、料金が異なりますので、お問い合わせください。

<お問い合わせ・送付先>

〒516-0008 伊勢市船江2-22-25 伊勢文化舎「はるく伊勢志摩」係

- TEL 0596-23-5166
- FAX 0596-23-5241

<お願い>

定期購読ご希望の方は、恐れ入りますが10号(最終号の予定)までをまとめてお申込みいただくと助かります。

配置場所のご案内

(県内)

伊勢志摩(3市1町)の主な観光案内所、観光施設、ホテル・旅館、飲食・土産物店、鳥羽ビジターセンター、志摩ビジターセンター、3市1町の観光担当窓口、伊勢志摩観光コンベンション機構、頭之宮四方神社、二見興玉神社、近鉄四日市駅・白子駅・津駅・宇治山田駅・鳥羽駅、安濃SA、伊勢・鳥羽・志摩・南伊勢・度会・玉城地域の全64の郵便局、百五銀行県内各支店他

(県外)

三重テラス(日本橋)、近鉄東京支社(丸の内)、東京大神宮(飯田橋)、東京コンファレンスセンター(品川・有明)、三重県関西事務所(梅田)、名古屋三交ビル1階桜通りカフェ(中村区)、近鉄大阪・奈良・京都・名古屋の主要駅、近畿日本ツーリスト中部の直営店(64店)・関西の直営店(33店)、百五銀行愛知・東京・大阪各支店他

伊勢志摩からの便り

桜の時期が過ぎ、伊勢志摩が一番輝く新緑の季節を迎えています。近海のカツオが食べられるのも、もうすぐです。

もうすぐといえば、「伊勢志摩サミット」(5月26日・27日)までいよいよカウントダウン。地元ではおもてなしなどの歓迎ムードが高まる中、神宮や志摩市の賢島周辺ではビリビリした緊張感が日々高まっています。各国首脳が伊勢志摩を訪れ、自然や風景を目にし、地元の食材を口にして、どんなメッセージを發するか、今から楽しみです。

今号から、本紙は8ページにスリム化しました。片や、取材・編集には今まで以上にじっくり時間をかける所存です。今号から国立公園の自然を「歩くシリーズ」(特集)と「里の祭り」が始まります。小社の雑誌でも馴染みの阪本博文氏が里に息づくゆかしい祭りを紹介します。ご期待ください。

発行人/伊勢文化舎代表 中村 賢一

次号は

「夏の号」7月上旬発行です。

特集

「南伊勢の滝」を訪ねる

70周年記念
事務局だより

「伊勢志摩国立公園写真展」
プロカメラマン 阪本博文氏の
輝く50点



3年前のある日のことです。鳥羽ビジターセンターの倉庫を整理していて、丁寧に梱包された額入り写真を発見しました。なんと、49点ありました。ガラスの表面に付いたカビをふき取る度に、一枚一枚伊勢志摩の美しい景色が蘇ってきます。瞬間、49に1を足せば50...“50周年”という文字が頭に浮かび、50周年記念史をめぐってみると...ありました!

そこには、50周年事業の一つ「伊勢志摩国立公園写真展」が記載されていました。郷土のプロカメラマン・阪本博文氏が撮影した国立公園内の風景写真50点を展示する“巡回

展”です。阿児アリーナを皮切りに、11か所で開催されています。50周年記念史には「桜が彩る宇治橋や磯着姿の海女...など身近にある四季折々の景色を再発見できる展示会であった」と記されています。

その額入り写真が、70周年にして再び見だされ脚光を浴びることになりました。70周年の冠事業や「サミット100日前イベント」などに8度の展示に使用され好評を得ています。

撮影から20年経ってなお、文字通り「色あせない」のは、作品が持つ“普遍的”な魅力に違いありません。そして、この写真から「伊勢志摩国立

公園がいつまでも変わらないように」との作者の願いも伝わってきます。



「みなとオアシス鳥羽」伊勢志摩写真展



阪本博文氏の50周年額入り写真

伊勢志摩国立公園協会事務局 長 滋野 峻

伊勢志摩国立公園 に関するお問い合わせは...

伊勢志摩国立公園協会
Tel. 0599-25-2358

伊勢志摩の観光 に関するお問い合わせは...

伊勢志摩観光コンベンション機構
Tel. 0596-44-0800

舞台は、伊勢志摩

旅が始まる。
伊勢志摩へ、
近鉄で。



旅客案内テレフォンセンター(8時~21時)年中無休
大阪(06)6771-3105 名古屋(052)561-1604

近鉄公式Facebook公開中

伊勢鳥羽志摩

